







平成29年4月-6月期・東員町商工会 中小企業景況調査結果（サービス業）

売上（収入）のD I値は、前年同期比で±0.0、前期比でも±0.0と横ばい傾向であるが、来期見通しは25.0と回復の兆しがある。採算（経常利益）のD I値は、前年同期比が±0.0であるが、来期見通しは25.0とこちらも回復の兆しが見える。資金繰りのD I値は、前年同期と前期比が±0.0で推移し、来期見通しも±0.0と横ばいで推移する見込みで大きな変化はない。業況のD I値は、前年同期で△25.0、前期比も△25.0と厳しい状況から、来期見通しは25.0と回復する見込みとなっている。三重県商工会エリア全体のD I値と比較すると、前年同期と前期のD I値は低い項目が見受けられ、東員町商工会エリアの方が厳しい状況であるが、来期見込みはすべてのD I値が高く、さらに、±0.0以上となっており、来期は東員町商工会エリアのサービス業の景況感は三重県全域と比べると良くなると思われる。

東員町商工会エリア	今期（29年4-6月期）の状況				来期（29年7-9月期）の状況		
	項目	前年同期（28年4-6月期）と比較		前期（29年1-3月期）と比較		前年同期（28年4-6月期）と比較	
		DI値	評価	DI値	評価	DI値	評価
売上（収入）	±0.00	横ばい 曇り	±0.00	横ばい 曇り	25.0	好転 快晴	
採算（経常利益）	±0.00	横ばい 曇り	--		25.0	好転 快晴	
資金繰り	±0.00	横ばい 曇り	±0.00	横ばい 曇り	±0.00	横ばい 曇り	
業況	-25.0	悪化 雨	-25.0	悪化 雨	25.0	好転 快晴	

三重県商工会エリア	今期（29年4-6月期）の状況				来期（29年7-9月期）の状況		
	項目	前年同期（28年4-6月期）と比較		前期（29年1-3月期）と比較		前年同期（28年4-6月期）と比較	
		DI値	評価	DI値	評価	DI値	評価
売上（収入）	7.7	やや増加 晴れ	5.8	やや増加 晴れ	-11.5	やや減少 小雨	
採算（経常利益）	-11.8	やや悪化 小雨	--		-12.0	やや悪化 小雨	
資金繰り	-10.2	やや悪化 小雨	±0.00	横ばい 曇り	-6.2	やや悪化 小雨	
業況	-12.5	やや悪化 小雨	-2.2	横ばい 曇り	-12.5	やや悪化 小雨	

各項目の評価については次により表示した。

D・I値※	20.1～	5.1～20.0	5.0～△5.0	△5.1～ △20.0	△20.1～ △35.0	△35.1～
区分	増加 好転	やや増加 やや好転	横ばい	やや減少 やや悪化	減少 悪化	大幅に減少 非常に悪化
天気図表示	快晴 	晴れ 	曇り 	小雨 	雨 	豪雨 

※D I値は、増加・好転等の割合から減少・悪化等の割合を差し引いた値。

今期直面している経営上の課題については、重要度の高い1位に上がっているのが「材料等仕入単価の上昇」、「従業員の確保難」、「その他」の3項目であり、三重県全域と比べると、少し項目にズレがある。ただ、「従業員の確保難」がどちらも重要課題として認識されており、サービス業における人手不足の実態がうかがえる。なお、上位3項目を集計した表が下にあるが、「利用者ニーズの変化」が50.0%で1位であるが、2位には「店舗施設の狭隘・老朽化」、「人件費の増加」、「従業員の確保難」等が25.0%で並んでおり、問題点が分散化している。

重要度1位の項目 (％)

東員町商工会エリア	1位		2位			
1位にあがる問題点	材料等仕入単価の上昇、従業員の確保難、その他					
前期/今期	--			25.0		
三重県商工会エリア	1位		2位		3位	
1位にあがる問題点	需要の停滞		利用者ニーズの変化		従業員の確保難	
前期/今期	12.8	19.1	23.4	17.0	17.0	14.9

重要度1位～3位の項目の集計

東員町商工会エリア	1位		2位			
1位～3位に上がった問題点	利用者ニーズの変化		店舗施設の狭隘・老朽化、人件費の増加、材料等仕入単価の上昇、事業資金の借入難、従業員の確保難			
前期/今期	--	50.0	--		25.0	